

公益社団法人 砥粒加工学会 北陸信越地区部会 報告

令和8年度 地区部会大会・第1回研究・見学会を終えて ～ 武生特殊鋼材株式会社（福井県越前市）～

1. はじめに

2026年3月10日（火）、北陸信越地区部会の企画として、令和8年度地区部会大会および第1回研究・見学会が、福井県越前市の武生特殊鋼材株式会社において開催された。その概要を以下に報告する。

2. 令和8年度 地区部会大会

地区部会大会は、令和7年度地区部会長 西野入 隆（セラテックジャパン）の挨拶により開会した。続いて、庶務幹事 宮島 敏郎（富山県立大学）の司会進行により進められ、地区部会長 西野入より運営委員の紹介および事業報告を、会計幹事 江面 篤志（三条市立大学）より決算報告をされた。また、会計監査 平石 誠（新潟県工業技術総合研究所）の代理による監査報告が行われた。

その後、地区部会長 西野入より令和8年度の運営委員の紹介が行われ、引き続き令和8年度運営委員会へ引き継がれた。令和8年度地区部会長 西野入より挨拶が行われたのち、庶務幹事 宮島より令和8年度の事業計画案（運営委員会3回、研究会3回）が説明され、会計幹事 江面より予算案が示され、いずれも承認された。

3. 令和8年度 第1回研究・見学会

地区部会大会に引き続き、第1回研究・見学会が開催された。研究会では、福井大学 岩井 善郎 氏より、「考え、感じ、創る。一投射粒子を利用した材料表面強さ評価法（MSE法・i-MSE法）の開発―」と題した講演が行われた。講演では学生時代の研究や指導教員との思い出に始まり、新しい材料表面強さ評価法であるMSE法の着想のきっかけから、現在の情報技術を活用したi-MSE法に至る開発過程について紹介いただいた。

続いて、武生特殊鋼材株式会社 取締役常務 坪川 翼 氏より、会社紹介ならびに刃物材料の変遷と研ぎに関する講演が行われた後、工場見学が実施された。武生特殊鋼材は、刃物用材料を主軸に産業用・工業用など幅広い分野で使用されるクラッドメタルを製造するメーカーで、同社の強みやクラッドメタルの特徴について理解を深めることができた。

見学では、クラッドメタル製品の展示室および工場を案内いただいた。展示室では、クラッドメタル特有の文様が表面に現れる美しい家庭用包丁をはじめ、さまざまな製品を紹介していただいた。参加者の中には、見学後に製品を購入する方も見られた。また工場では、熱間圧延機や冷間圧延機などクラッドメタルの製造現場を見学し、ラボでは材料観察装置や刃物の切れ味試験機など、新規材料の開発に関わる設備について見学した。

見学会終了後の総合討論にて、活発な質疑応答が交わされた後、武生特殊鋼材株式会社 代表取締役社長 河野 通郎 氏から挨拶があった。最後に副地区部会長 熊谷 勇雄（マコー）より閉会の挨拶が行われ、終了した。

その後、場所を福井駅前に移し、講師の方々にもご参加いただいて技術交流会を開催した。多くの参加者が情報交換を行い、有意義な時間となった。

4. おわりに

当日は肌寒い日となったが、今回の研究・見学会には25名が参加し、大変盛況な会となった。

次回は、7月6日（月）に富山県富山市の富山県民会館において、先端加工フォーラム2026「マイクロ・ナノバブルの基礎と加工・洗浄プロセスへの応用」と題し、4件の講演を予定している。多くのご参加をお待ちしている。

（文責：千徳 英介（福井県幹事・福井工業高等専門学校））



図1 地区部会長 西野入 隆 氏

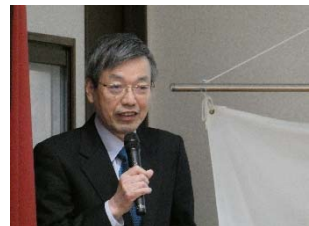


図2 福井大学 岩井 善郎 氏



図3 武生特殊鋼材 坪川 翼 氏



図4 武生特殊鋼材 河野 通郎 氏



図5 副地区部会長 熊谷 勇雄 氏